

リヴィウ(ウクライナ) 文学創造都市



Designated
UNESCO Creative City
in 2015



文学創造都市リヴィウ事務局は2015年に設立され、ナト・コトケビツ文化宮殿の中にあります。事務局は、地域、国、国際レベルのユネスコ文学創造都市の広報やプロジェクトの支援をする文化マネージャーがチームとなって活動しています。チームでは、文学創造都市としてユネスコと連絡調整を行い、レポートの作成等を行っています。実際、ユネスコ文学創造都市リヴィウは、申請書で宣言した戦略を実施していくための組織で、市と文学関係のコミュニティの間をつなぐための事業に取り組んでいます。ロシアによるウクライナへの全面侵攻が始まって以降、事務局で優先度を上げたのは、ウクライナのアイデンティティのために闘うことです。特に、ウクライナ国内及び国外に向け、ウクライナ文学の言葉を発信することに力を入れています。



文学創造都市リヴィウのチーム、
リヴィウ市立図書館のメンバーと
文学創造都市ミラノのカテリーナ・
ミハリツィナさん



文学創造都市リヴィウのチーム、作家のユリヤ・ムサコヴスカさん、オレーナ・フセイノヴァさん(文学創造都市マンチェスターの詩の図書館で開催された「危険にさらされている文化からの声」イベントの会場で)